

西郷從道殿

[Faint, mostly illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side.]

二月九日

開張し多入三子

一店負臣余り明瞭す

ありと考へ信ぜし由

右の由を信ぜし由あり

其後彼等が扱方ゆゑ大に不便なれ
 ば是れも之の由を以て之を治すべし
 同様に及ぶ所を扱方へ分るるものなり
 之を治すべし

右の如く考へて之を治すべし

録

月抄信

三月廿五日

三月廿五日

書
知
公
事

市川係

書
記
官

津田善行調

謝
表
乙
巳
年

砂
島
三
郎

官負着
京
義
市
和

准陸軍少佐家村住義儀
下務使砂島三郎継任
用より方々一証状を
着より未だ終りぬる也

西條千五郎二月六日
下務使砂島三郎市川係

西郷
経
道